

患者の皆様へ

平成 30 年 4 月 9 日
呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、「超音波気管支鏡ガイド下生検における生検針の有効性の後方視的比較」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では肺癌患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

- 1. 研究課題名：** 超音波気管支鏡ガイド下生検における生検針の有効性の後方視的比較
- 2. 研究の意義・目的：** 従来用いていた生検針と、新しい生検針(細い針)の診断結果を比較して、より低侵襲な検査が行えるか検証します。
- 3. 研究の方法：** 千葉大学医学部附属病院にて超音波気管支鏡検査を施行した患者様の生検針の種類や成績、合併症といった臨床データを解析・検討します。
- 4. 対象期間：** 2016年9月から2017年4月までの間において、超音波気管支鏡検査を受けて特定の針(25G針)を使用していた患者様が対象となります。
- 5. 個人情報の取り扱い：** 患者様の氏名や情報が特定されることのないように、匿名化してデータの解析・検討を行います。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名、住所、生年月日などは一切公表いたしません。
- 6. 研究等の実施場所等：** 解析およびデータ保存は千葉大学医学部附属病院呼吸器外科臨床研究室内の鍵のかかる部屋で厳重に保管、管理します。
- 7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について：** ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省、厚生労働省が定める「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院呼吸器外科
本件のお問合せ先 : 千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

医師 坂入祐一
043(222)7171 内線 5464 呼吸器外科